

地域の魅力発信セミナー（関西ブロック）を終えて

1月20日、外務省国際会議場において、関西地区より7つの地方自治体（大阪府、大阪市、堺市、兵庫県、神戸市、奈良県、福井県）が企業誘致、観光誘致等についてプレゼンテーションを行いました。

本セミナーは、在京外交団に対し行われたもので、各在京大使館より69名の参加者がありました（内訳は、アジア大洋州地域12カ国、アフリカ地域19カ国、中東地域14カ国、北米・南米地域9カ国、欧州地域10ヶ国）。なお本セミナーは昨年11月に行われた九州ブロックに続く2回目となるものでしたが、参加人数は前回よりも増加しており、在京外交団の地方自治体に対する関心の高さが窺えました。



【各自治体のプレゼンテーション】

関西ブロックのプレゼンテーションは、企業誘致に関連する説明が大半を占めており、特に大阪府、大阪市、堺市、兵庫県、神戸市は、湾岸地域への企業誘致にあたり、東京より物価が安いことや留学生が多いことなど、外国人が住みやすい環境が整っているだけでなく、海外企業が日本に進出するロケーションとしては、最適の場所であることをアピールしました。また阪神淡路大震災の経験を踏まえた災害に強いまちづくりの事例についても紹介を行いました。

奈良県は、観光誘致を強調。2010年の「平城遷都1300年記念事業」を紹介し、会場にはマスコットキャラクター「せんとくん」も駆けつけて会場を盛り上げ、福井県は、同県内に所在する小浜町とオバマ新大統領の関わりや、品質とデザイン性の高い眼鏡産業についての紹介を行いました。すべてのプレゼンテーション終了後には交流会が行われ、各自治体から持ち込まれた日本酒やワイン、和菓子等が振る舞われ、在京外交団側と各自治体が直接コンタクトする機会も設けられました。



【在京外交団の反応】

在京外交団に対して行ったアンケート調査では、在京外交団にとって地方自治体の情報はなかなか得られにくいため、大変ありがたい機会であったという意見や、全都道府県が参加してもらえるセミナーにして欲しい等、全般として好意的な意見が多数あり、なかには外交団側からも各国地方の魅力を発信する、このようなセミナーを開催したいとの頼もしい意見もありました。

【まとめ】

今後は、スムーズで迅速なプレゼンテーションと交流会における時間配分にも考慮する必要があること。また交流会における各地方自治体へのコンタクトをさらに容易にできるよう工夫する必要があると思われました。

最後に、ご協力いただきました各自治体の皆様に厚く感謝申し上げます。今回、ご参加いただけなかった関西ブロック内自治体の皆様の次回参加をお待ちしております。
(了)